

宮崎の土呂久に 学ぶ講演会

土

9/2

13:30～15:45

13:00開場

参加無料

事前申込制、
先着順

かつて、高千穂町土呂久で公害が発生し、現在の美しい自然を取り戻すのに長い時間と多くの労力を費やしたことをご存じですか。

そして、土呂久の教訓と経験はアジアに活動の場を移しました。

今も広がる国際協力について、学びを深めてみませんか。

土呂久と Bangladesh がつないでくれた私のライフワーク

おおえ かおる
大榮 薫 氏

宮崎大学
工学教育研究部
准教授



宮崎大学農学部卒業後、同大学工学部文部技官、助教を経て、同大学大学院農学工学総合研究科でヒ素除去を目的とした磁性吸着材の開発に関する研究で博士号を取得した後、同大学工学教育研究部の准教授に昇進。現在もヒ素など環境汚染金属の吸着材開発の研究をしている。

宮崎大学附属図書館の「よみがえる土呂久」常設展示に協力。また、宮崎大学公開講座「土呂久に学ぶ環境学」(川原一之氏講師)を開催。これまでに講義をとおして約300人の大学生・大学院生に資源・環境保全の題材として土呂久の歴史を伝えている。

Bangladesh のヒ素汚染地でのアジア砒素ネットワークの20年の活動 ～発展の影から光を見つける当事者とNGOの歩み～



いしやま たみこ
石山 民子 氏

特定非営利活動法人
アジア砒素ネットワーク理事
大学非常勤講師
(国際NGO論、国際ボランティア論)

社会福祉を学んでいた学生時代に Bangladesh の農村部を訪れたのがきっかけで Bangladesh の文化と暮らしに関心を持つようになり、ベンガル語を学び始める。

2001年から宮崎市に本部を置く国際協力NGOのアジア砒素ネットワークの職員として、Bangladesh の水供給、保健(慢性疾患対策)、栄養、持続可能な食料生産などに関するプロジェクトに参加。ライフワークとして日本で Bangladesh 食文化の紹介と雨水利用を楽しんでいる。

※ 特定非営利活動法人アジア砒素ネットワーク(AAN)・・・土呂久での支援をきっかけに1996年より活動を行う。現在は Bangladesh を中心に「住民とともに歩む」理念のもと、安全な飲料水の確保、健康を支える地域づくり、栄養改善と持続可能な農業の実践について活動を展開している。AAN ホームページ URL: <http://www.asia-arsenic.jp>

申込み

電話・FAX・メール等で下記連絡先までお申し込みください。
FAXでお申込みの方は裏面にご記入ください。

メール申込・オンライン配信ご希望の方は [こちらから](#)

問合せ

宮崎県環境管理課 担当:横川、鈴木
e-mail: kankyokanri@pref.miyazaki.lg.jp
電話:0985-26-7082 FAX:0985-38-6210

会場

宮崎県立図書館2階視聴覚室(定員50名)
オンライン配信も同時開催

質疑応答の時間もあります。両講師とも講演内容以外の国際協力等の質問も受け付けてくださいます!

締切

9/1 17:00
(金)



図書館1階ギャラリーでパネル展も同時開催中
8月30日(水)～9月10日(日)